Form No. 3408-309 Rev A

55cm Recycler® スマートストウ芝刈り機

モデル番号20959—シリアル番号 315000001 以上

オペレーターズマニュアル

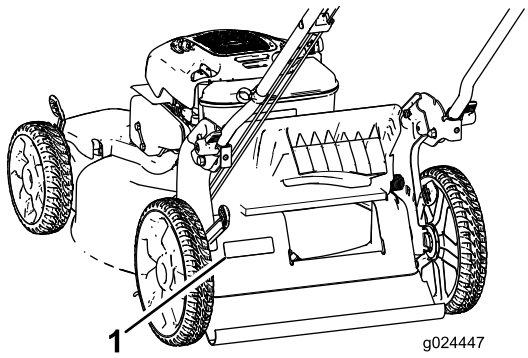
はじめに

この機械は、一般の家庭での使用を前提として製造された、回転刃を使用する歩行式芝刈り機です。この製品は、適切な管理を受けている家庭などの芝生に対する刈り込み管理を行うことを主たる目的として製造されております。本機は、雑草地や農業用地における刈り取りなどを目的とした機械ではありません。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からない、また適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

弊社に直接おたずねをいただく場合www.Toro.comで製品の安全・運転講習資料の入手、アクセサリ情報の閲覧、代理店についての情報閲覧、お買い上げ製品の登録などを行っていただくことができます。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。図 1にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。



g024447

図 1

1. 銘板取り付け位置

いまのうちに番号をメモしておきましょう。

モデル番号_____

シリアル番号 _____

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号図 2を使用しております。死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから必ずお守りください。



g000502

図 2

1. 危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要**は製品の構造などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。

この製品は関連するすべての欧州指令に適合しています。詳細については、別添えの規格適合証明書DOCをご覧ください。

ネットNetトルク この製品に使用しているエンジンのグロス出力やネット出力は、SAE の J1940 規格に則ってエンジンメーカーが実験室にて測定した数値です。安全性、排ガス規制、機能上の要求などに合わせて調整されるため、このクラスの芝刈り機のエンジンの出力トルクは、グロス値よりも大幅に下げてあるのが普通です。お手元の機械の主な仕様は、www.Toro.com でご覧になることができます。

エンジンを改造したり、ガバナの速度設定を変えたりしないでください。安全性が損なわれて人身事故を起こす恐れがあります。

目次

はじめに 1
安全について 2
　芝刈り機の安全に関する一般注意事項 2
　音圧 3
　音力 4
　手と腕の振動 4
　安全ラベルと指示ラベル 4
組み立て 5
　1 ハンドルを開く 5
　2 スタータロープをロープガイドに通す 6
　3 エンジンにオイルを入れる 6
　4 集草バッグを取り付ける 7
製品の概要 8
　仕様 8
運転操作 8

© 2016—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the USA
禁無断転載

燃料を補給する 8
エンジンオイルの量を点検する 9
刈高を調整する 9
エンジンの始動手順 10
自走運転 10
エンジンの停止手順 10
刈りかすのリサイクリング.....10
刈りかすを集草する場合 11
側方排出での刈り込み.....11
機体を立てて格納するには.....12
ヒント 13
保守 14
推奨される定期整備作業 14
整備作業にかかる前に.....14
エアフィルタの交換 14
エンジンオイルの交換.....15
ブレードの交換 16
自走運転の調整 17
機体下の清掃 17
保管 18
格納保管の準備 18
ハンドルを折りたたむ.....18
保管状態から通常使用状態への復帰 18

安全について

この機械は、EN ISO 5395:2013 規格に適合しています。

間違った使い方や整備不良は人身事故などの原因となります。人身事故を防止するため、以下に示す安全上の注意を必ずお守りください。

最大の安全性を確保し、この機械に最高の性能を発揮させ、製品について十分な知識を得ていただくために、エンジンを始動する前に、この製品を扱うすべての方々が必ずこの説明書を読み、内容を十分に理解してください。警告記号図 2のついている遵守事項は、注意、警告、危険など「人身の安全に関わる注意事項」を示しています。これらは、安全上、特に重要な注意事項ですから、内容をよく読んで理解してください。これらの注意を怠ると人身事故が発生する危険があります。

芝刈り機の安全に関する一般注意事項

この刈り込み機は手足を切断したり物をはね飛ばしたりする能力があります。以下に挙げる注意事項を守らないと、死亡事故を含む重大な人身事故が発生する危険があります。

トレーニング

- 各注意事項を注意深く読んでください。各部の操作方法や本機の正しい使用方法に十分慣れておきましょう。
- 子供や正しい運転知識のない方には操作させないでください。地域によっては機械のオペレータに年齢制限を設けていることがありますのでご注意ください。
- 人身事故や器物損壊などについてはオペレータやユーザーが責任を負うものであることを忘れないでください。
- 機体についている標識や絵文字の意味やその説明をよく理解してください。マニュアルにも説明があります。

ガソリン

警告ガソリンは引火性が極めて高い。以下の注意を必ず守ってください。

- 燃料は専用の容器に保管する。
- 給油は必ず屋外で行い、給油中は禁煙。
- 給油はエンジンを掛ける前に行う。エンジンの運転中やエンジンが熱い間に燃料タンクのフタを開けたり給油したりしない。.
- ガソリンがこぼれたらエンジンを掛けない。機械を別の場所に動かし、気化したガソリンが十分に拡散するまで引火の原因となるものを近づけない。
- 燃料タンクは必ず元通りに戻し、フタはしっかり締める。

運転の前に

- 作業には頑丈で滑りにくい靴と長ズボンを着用してください。また、裸足やサンダルで機械を運転しないでください。
- 機械にはね飛ばされて危険なものが落ちていないか、作業場所をよく確認し、石、木の枝、針金、骨などの異物をすべて取り除きましょう。
- 使用前に、必ず目視点検を行い、デフレクタ、集草装置など、ガード類や安全を確保する部材の状態を確認してください。
- 使用前に必ず目視点検を行い、刈り込みブレード、ブレードボルト、カッターアセンブリなどの状態を確認してください。刈り込みブレードを交換する場合は、バランスを維持するためにブレードとボルトをセットで交換してください。

始動

- 必要でない限り、エンジンを始動する時に機体を傾けないでください。また、機体を傾ける必要がある場合でも、必要以上に傾けないようにし、オペレータから遠い側を浮かせるようにしてください。
- エンジンの始動はこのマニュアルにしたがって慎重に行い、特に両足をブレードや排出口から十分に離して行ってください。

運転操作

- 周囲にペットや人、特に子供がいる所では絶対に作業をしないでください。
- 作業は日中または十分な照明のもとで行ってください。
- 隠れて見えない穴や障害物に常に警戒を怠らないようにしましょう。
- 回転部やその近くには絶対に手足を近づけないでください。また排出口の近くにも絶対に人を近づけないでください。
- エンジン回転させたまま機体を持ち上げたり搬送したりしないでください。
- 後退するときや、機械を手前に引くときには安全に十分注意してください。
- 作業中は絶対に走らないでください。
- 斜面
  - 急斜面での刈り込みはしないでください。
  - 斜面では十分に慎重な運転を心がけましょう。
  - 斜面は絶対に上り下りしながら刈らないでください。横断しながら刈り込むようにしでください。
  - 斜面では常に足元を確保してください。
- 斜面での運転や旋回は、確実に制御できるように必ず低速で行なってください
- 芝面以外の表面を移動中に機体を傾ける必要が出てきた場合や、刈り込み現場から次の現場に移動する時には、ブレードの回転を止めてください。
- 一酸化炭素ガスなどの有毒ガスが溜まるような閉め切った場所ではエンジンを運転しないでください。
- エンジンを止める。
  - 機体から離れるとき。
  - 燃料を補給する前。
  - 集草バスケットを取り外すとき。
  - 刈り高を変更するときただし運転位置から変更できる時にはこの限りでありません。
- 以下の場合には、ますエンジンを停止させ、点火プラグのコードを外してください。
  - 詰まりを取り除くときや排出シュート内部の異物を除去するとき。
  - 機械の点検・清掃・整備作業などを行うとき
  - 機械を何かに衝突させてしまった場合には、機械に損傷がないか点検し、必要があれば修理を行ってください。点検修理が終わるまでは作業を再開しないでください。
  - 機械が異常な振動を始めたとき直ちに点検してください
- 機械が落雷を受けると最悪の場合死亡事故となります。稲光が見えたり雷が聞こえたりるような場合には運転を中止して安全な場所に避難してください。
- 道路付近で作業するときや道路を横断するときは通行に注意しましょう。

保守整備と格納保管

- 常に機械全体の安全を心掛け、また、ボルト、ナット、ねじ類が十分に締まっているかを確認してください。
- 圧力洗浄機で機械を洗浄しないでください。
- 火花や裸火を使用する屋内で本機を保管する場合は、必ず燃料タンクを空にし、火元から十分離してください。
- 閉めきった場所に本機を保管する場合は、エンジンが十分冷えていることを確認してください。
- 火災防止のため、エンジンやマフラー、バッテリーや燃料タンクの周囲に、余分なグリス、草や木の葉、ホコリなどが溜まらないようご注意ください。
- グラスキャッチャーやガード類はキズや破損が出やすいのでこまめに点検し、必要に応じてメーカーが推奨するパーツと交換してください。
- 磨耗したり破損したりしている部品は安全のために交換してください。
- マフラーが破損したら必ず交換してください。
- 燃料タンクの清掃などが必要になった場合は屋外で作業を行ってください。
- エンジンのガバナの設定を変えたり、エンジンの回転数を上げすぎたりしないでください。規定以上の速度でエンジンを運転すると人身事故が起こる恐れが大きくなります。
- 機械の調整中に指などを挟まれないように十分注意してください。
- **いつも最高の性能を維持するために、交換部品やアクセサリは必ずトロの純正品をご使用ください。非純正の *類似品* や非純正アクセサリを使用しないでください。危険な場合があります。**

搬送する場合

- トレーラやトラックへの積み降ろしする際には安全に十分注意してください。
- 積み込みには、機体と同じ幅のある歩み板を使用してください。
- 荷台に載せたら、ストラップ、チェーン、ケーブル、ロープなどで機体を確実に固定してください。機体の前後に取り付けた固定ロープは、どちらも、機体を外側に引っ張るように配置してください。

音圧

この機械は、オペレータの耳の位置における音圧レベルが 89 dBA であることが確認されています ただしこの数値には不確定値K1 dBA が含まれています。

音圧レベルの確認は、EN ISO 規則 5395:2013 に定める手順に則って実施されています。

音力

この機械は、音力レベルが 98 dBA であることが確認されています ただしこの数値には不確定値K1 dBA が含まれています。

音圧レベルの確認は、ISO 11094 に定める手順に則って実施されています。

⚠ 注意

聴覚保護を行わずにこの機械を長時間運転し続けると聴覚に異常をきたす恐れがあります。

運転が長時間にわたる場合には必ず適切な聴覚保護具を着用するようにしてください。

手と腕の振動

右手の振動レベルの実測値 = 5.5m/s²

左手の振動レベルの実測値 = 5.4m/s²

不確定値K = 2.2m/s²

実測は、EN ISO 5395:2013 に定める手順に則って実施されています。

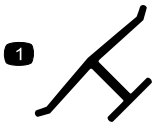
⚠ 注意

運転用の手袋などを着用せずにこの機械を長時間運転し続けると手指にしびれをきたす恐れがあります。

運転が長時間にわたる場合には必ず手袋など適切な振動低減具を着用するようにしてください。

安全ラベルと指示ラベル

重要 以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したステッカー類は新しいものに交換してください。



decaloemmarkt

メーカー純正マーク

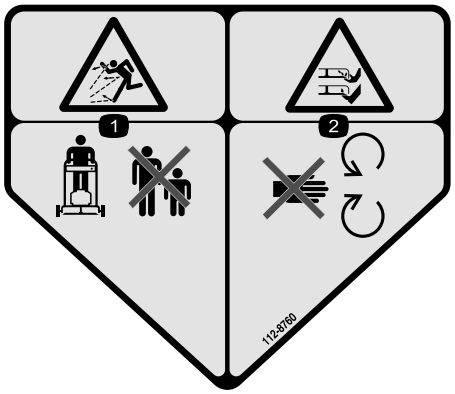
1. 芝刈機メーカーが正規に使用しているブレードであることを示す。



decal112-8867

112-8867

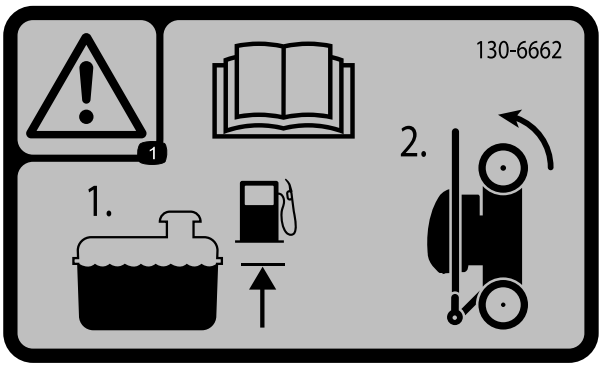
1. ロック
2. ロック解除



decal112-8760

112-8760

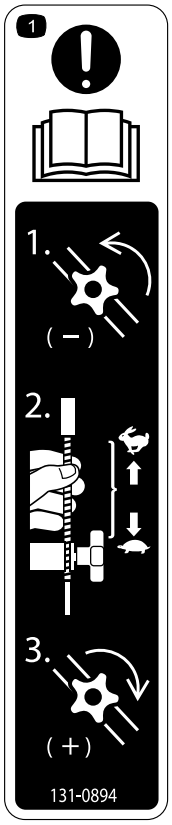
1. 異物が飛び出す危険 人を近づけないこと
2. ブレードによる手足切断の危険可動部に近づかないこと。



decal130-6662

130-6662

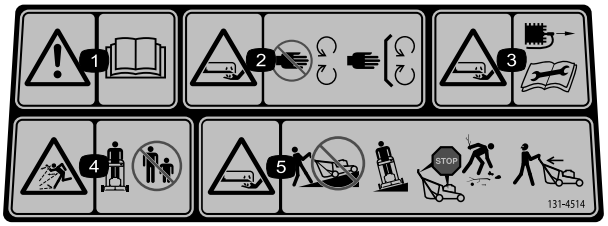
1. 警告*オペレーターズマニュアル*を読むこと1) 表示以上に燃料を入れないこと。2) 機械を格納する時は前方に倒す。



decal131-0894

131-0894
走行調整

1. 注意*オペレーターズマニュアル*を読むこと1) ノブを左に回してゆるめる 2) ケーブルをエンジンから離すように引くと走行速度が遅くなり、近づけるようにすると速くなる 3) 調整後はノブを締める。



decal131-4514

131–4514

1. 警告 *オペレーターズマニュアル*を読むこと。
2. 手足の負傷や切断の危険回転刃に近づかないこと 使用時にはすべての安全カバー類を正しく取り付けておくこと。
3. 刈り込み刃で手足を切断する危険保守整備作業前には点火プラグのコードを外し、マニュアルを読むこと。
4. 異物が飛び出す危険 人を近づけないこと
5. 刈り込み刃で手足を切断する危険法面では上下方向に刈らないこと法面を横切るように刈ること運転位置を水平に戻す時はエンジンを停止させることバックする時は必ず後ろを確認すること。

組み立て

重要 エンジンについているビニルカバーは外して捨ててください。

1

ハンドルを開く

必要なパーツはありません。

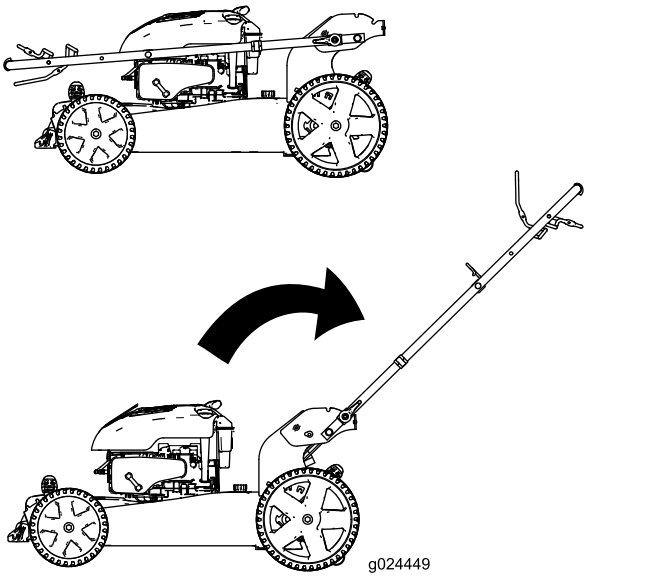
手順

⚠ 警告

不用意にハンドルを開くとケーブルが破損して危険である。

- **ハンドルの開閉操作は、ケーブルを傷つけないように注意して行うこと。**
- **ケーブルがハンドルを外側を通っていることを確認する。**
- **ケーブルの破損を発見したら、弊社の正規代理店に連絡する。**

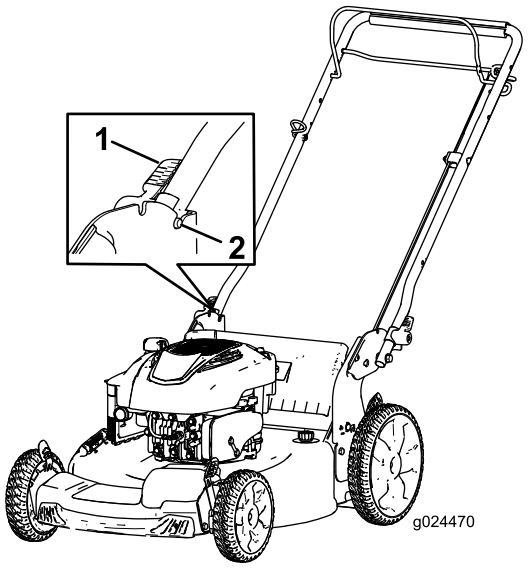
1. ハンドルを後方に開くと運転操作位置になる 図 3。



g024449

図 3

2. ハンドルロック 図 4のピンをカチっと音がするまで完全にはめる。



g024470

図 4

1. ハンドルロック　　2. ピン

2

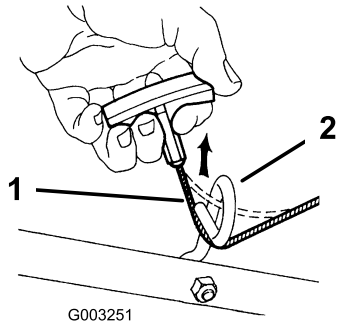
スタータロープをロープガイドに通す

必要なパーツはありません。

手順

重要 スタータロープをロープガイドに通す必要があります。

ブブレードコントロールバーを上ハンドルに寄せ、スタータロープをロープガイドに通します図 5。



g003251

図 5

1. リコイルスタータロープ　　2. ロープガイド

3

エンジンにオイルを入れる

必要なパーツはありません。

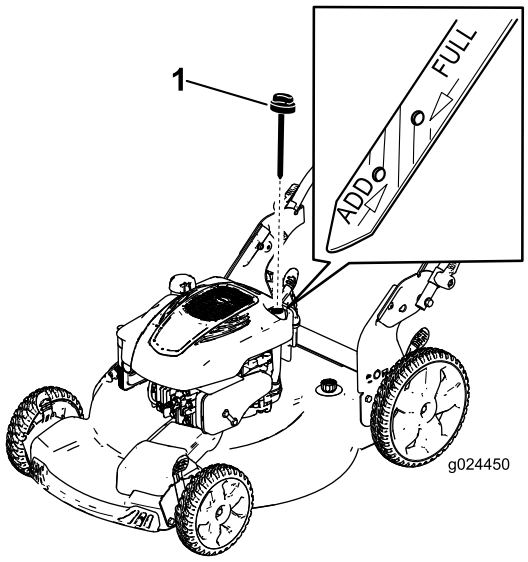
手順

重要 エンジンにはオイルが入っておりませんが、付属品としてオイルがついてきます。エンジンを始動する前に、エンジンオイルを入れてください。

エンジンオイルの最大量 0.59 リットルタイプSAE 30 洗浄性オイル全米石油製品規格API規格SF, SG, SH, SJ, SL またはそれ以上。

注 エンジンに全くオイルが入っていない状態のときには、オイル容量の約 3/4 をまずエンジンに入れ、残りは以下の要領に従って入れてください

1. 平らな場所に駐車する。
2. キャップを左に回してディップスティックを抜き取る図 6。



g024450

図 6

1. ディップスティック

3. きれいなウェスでディップスティックをぬぐう。
4. 補給口にディップスティックを差し込んでねじ部を最後まで締め、もう一度抜き取る。
5. ディップスティックの目印で油量を点検する図 6。
   - 油量がディップスティックの ADD マークより足りなければ、補給管から少量を補給

し、3分間待って量を確認する。 FULL マークになるまでステップ3~5を繰り返す。

- 油量がディップスティックの FULL マークより上にある場合は、余分のオイルを抜いて FULL マークまで戻す エンジンオイルの交換 (ページ 15)を参照。

重要 オイル量が少なすぎても多すぎても、そのままでエンジンを運転するとエンジンを破損させる恐れがあります。

6. ディップスティックをしっかり取り付ける。

重要 *初回のオイル交換は運転開始後 5 時間*でその後は、1 年ごとにオイル交換を行ってください。 エンジンオイルの交換 (ページ 15)を参照。

4

集草バッグを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

1. 図 7 に示すように、フレームにバッグを取り付ける。

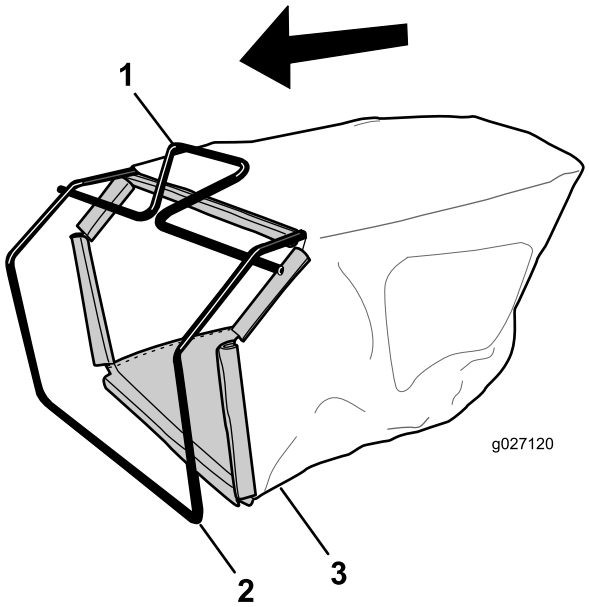


図 7

1. ハンドル
2. フレーム
3. 集草バッグ

注 ハンドルにバッグを被せないでください 図 7。

2. バッグ下側の溝をフレームに固定する図 8。

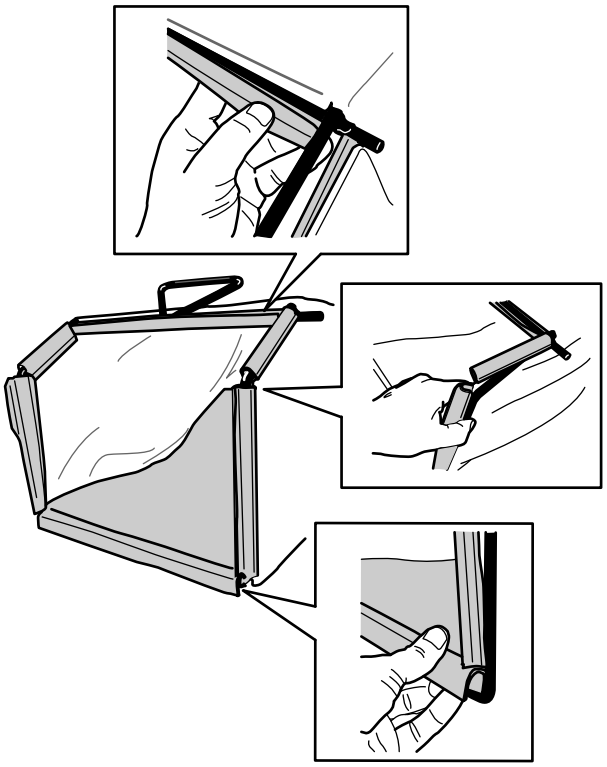


図 8

3. バッグの上側と左右の溝をフレームに固定する図 8。

製品の概要

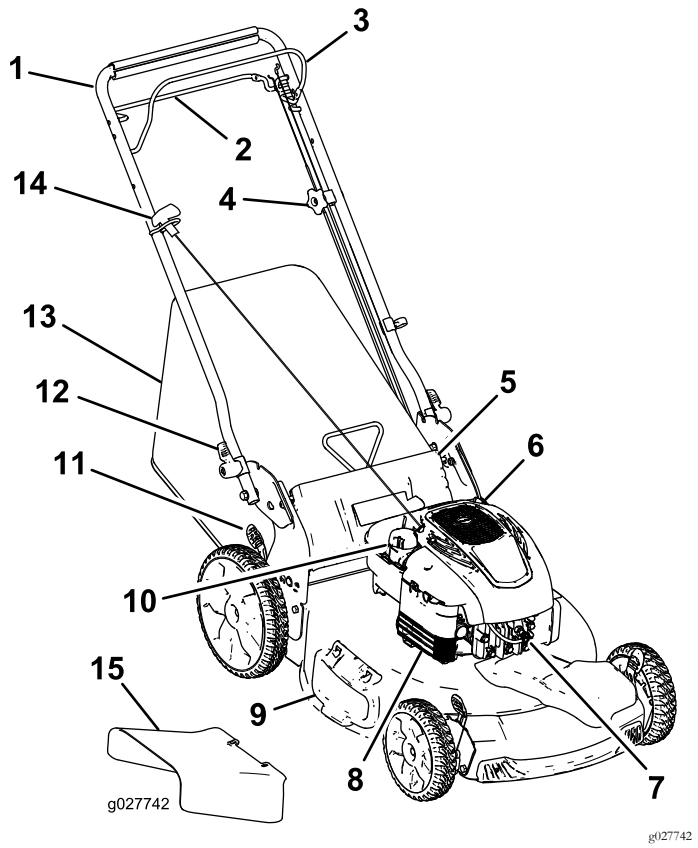


図 9

1. ハンドル
2. 自走バー
3. ブレードコントロールバー
4. 走行速度調整ノブ
5. 後デフレクタ
6. オイル補給口/ディップスティック
7. 点火プラグ
8. エアフィルタ
9. 側方排出デフレクタ
10. 燃料タンクのキャップ
11. 刈高レバー4
12. ハンドルロック2
13. 集草バッグ
14. リコイルスタータハンドル
15. 側方排出シュート

仕様

モデル	ウェイト	長さ	幅	高さ
20959	37kg	150cm	58cm	107cm

運転操作

燃料を補給する

⚠ 危険

ガソリンは極めて引火・爆発しやすい物質である。引火したり爆発したりするとやけどや火災などを引き起こすおそれがある。

- **静電気による引火を防止するために、燃料を補給する際には、燃料容器と機械を地面に直接置いて給油するようにし、トラックの荷台などでの給油は行わないようにする。**
- **給油は屋外で、またエンジンが冷えている状態で行う。こぼれた燃料はふき取る。**
- **喫煙しながらや、周囲に火気がある状態でガソリンを取り扱わない。**
- **燃料は認可された容器に入れ、子供の手の届かない場所で保管する。**

- 機械の性能を最も良く発揮させるために、オクタン価87以上の、きれいで新しい購入後30日以内無鉛ガソリンを使ってくださいオクタン価評価法は(R+M)/2 を採用。
- エタノール添加ガソリン10% まで、MTBE 添加ガソリン15% までを使用することが可能です。
- **エタノール** エタノールを添加10% までしたガソリン、MTBEメチル第3ブチルエーテル添加ガソリン15% までを使用することが可能です。エタノールとMTBEとは別々の物質です。エタノール添加ガソリン15% 添加=E15は使用できません。エタノール含有率が 10% を超えるガソリンは絶対に使用してはなりませんたとえば E15含有率 15%、E20含有率 20%、E85含有率 85%がこれにあたります。これらの燃料を使用した場合には性能が十分に発揮されず、エンジンに損傷が発生する恐れがあり、仮にそのようなトラブルが発生しても製品保証の対象とはなりません。
- メタノールを含有するガソリンは**使用できません**。
- 燃料タンクや保管容器でガソリンを**冬越しさせないでください。** 冬越しさせる場合には必ずスタビライザ品質安定剤を添加してください。
- ガソリンに**オイルを混合しないでください**。

燃料タンクに、信頼できる業者から仕入れた品質の確かなレギュラーガソリンを入れてください。図 10。

重要 始動性を高めるために、燃料スタビライザ品質安定剤の使用をお奨めします購入後30日以内のガソリンに対して使用してください。

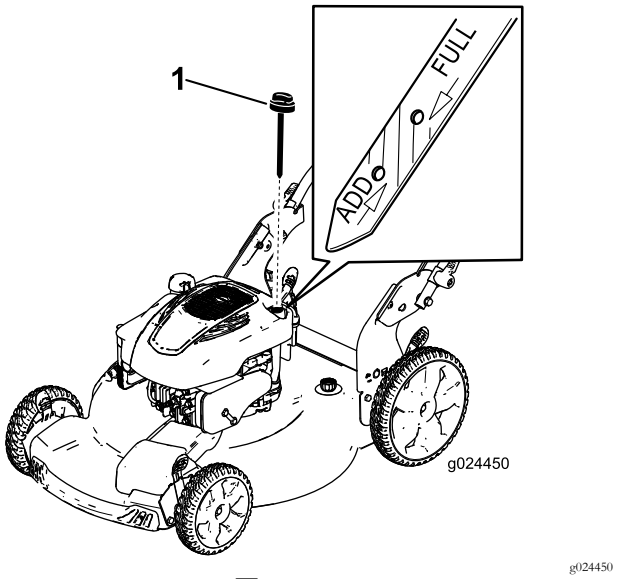
重要 機械を立てた状態で格納する予定の場合は、燃料を入れる前に **機体を立てて格納するには (ページ 12)** **をお読みください。**

エンジンオイルの量を点検する

整備間隔: 使用するごとまたは毎日

注 エンジンオイルの最大量 0.59 リットルタイプSAE 30 洗浄性オイル全米石油製品規格API規格SF, SG, SH, SJ, SL またはそれ以上。

1. 平らな場所に駐車する。
2. ディップスティックを外す図 10。



g024450

図 10

1. ディップスティック

3. きれいなウェスでディップスティックをぬぐう。
4. 補給口にディップスティックを差し込んでねじ部を最後まで締め、もう一度抜き取る。
5. ディップスティックの目印で油量を点検する図 10。
   - 油量がディップスティックの ADD マークより足りなければ、補給管から少量を補給し、3分間待って量を確認する。 FULL マークになるまでステップ3~5を繰り返す。
   - 油量がディップスティックの FULL マークより上にある場合は、余分のオイルを抜いて FULL マークまで戻す エンジンオイルの交換 (ページ 15)を参照。

   重要 オイル量が少なすぎても多すぎても、そのままでエンジンを運転するとエンジンを破損させる恐れがあります。
6. ディップスティックをしっかり取り付ける。

刈高を調整する

⚠ 警告

刈高を調整中に刈り込みブレードが作動すると、大けがを負う危険がある。

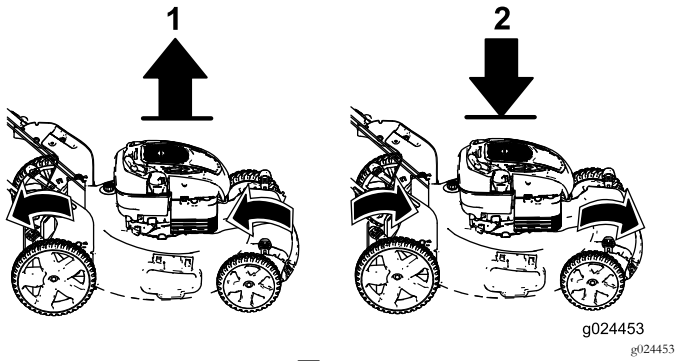
- **エンジンを止め、各部が停止するのを待つ。**
- **刈高の調整を行う時に、指や手をハウジングの下に入れないように注意すること。**

⚠ 注意

エンジン停止直後は、マフラーが高温高圧状態となっていて触れると火傷を負う危険性がある。高温のマフラーに触れないように注意すること。

希望の刈高に調整する。前輪と後輪を同じ高さにセットする図 11。

注 地上高を上げるには、全部の刈高レバーを後ろに倒します。地上高を下げるには、全部の刈高レバーを前に倒します。



g024453

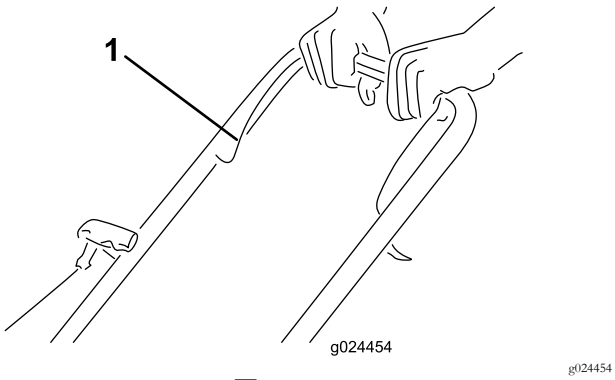
図 11

1. マシンを上げる
2. マシンを下げる

注 刈高の設定は25mm35mm44mm54mm64mm73mm83mm92mm102mmです。

エンジンの始動手順

1. ブレードコントロールバーをハンドルに押し付けるように握りこむ図 12。

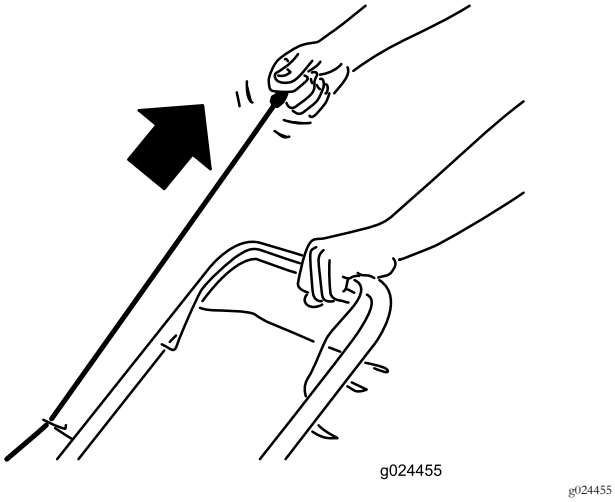


g024454

図 12

1. ブレードコントロールバー

2. 抵抗を感じるところまでスタータハンドル図 13を引き上げ、そこから力強く引き、手を離してロープが自然に引き込まれるようにする。



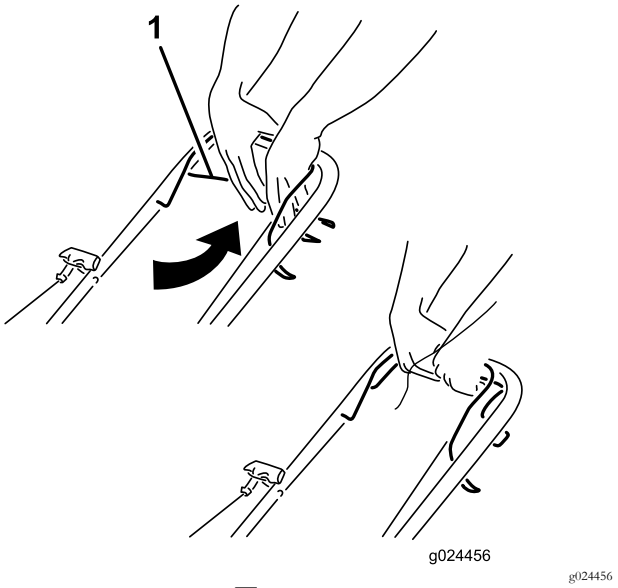
g024455

図 13

注 数回試みてもエンジンを始動できない場合には、代理店に連絡してください。

自走運転

- **自走を開始するには**自走バーをハンドルに押し付けるように握り込む図 14。



g024456

図 14

1. 自走バー

注 自走の最高速度は固定されています。速度を遅くしたい場には、自走バーとハンドルとのすきまを大きくします。

- **自走を停止するには**自走バーから手を離す。

注 この機械にはフリーホイールクラッチが付いており、後方に引いて楽に運ぶことができます。自走バーから手を離すとクラッチが解除されますが、解除されない時は場、機体を前方に 2.5cm 程度押し出すてください。

エンジンの停止手順

エンジンを停止するには、ブレードコントロールバーから手を離します。

重要 ブレードコントロールバーから手を離離すと、エンジンと刈り込みブレードの両方が 3 秒以内に停止するのが正常です。もし正しく停止しない場合には、直ちに機械の使用を停止し、代理店にご連絡ください。

刈りかすのリサイクリング

出荷時に、刈りかすをリサイクリング粉砕して芝生に戻す設定にしてあります。

集草バッグが取り付けてある場合には外してくださいリサイクリングについては集草バッグを取り外す (ページ 11)を参照してください。側方排出シュートが取り付けてある場合には外してくださいリサイクリングについては側方排出シュートを取り外す (ページ 11)を参照してください。

刈りかすを集草する場合

刈りかすを集めたい場合には集草バッグを使います。

⚠ 警告

磨耗して破れたバッグから小石などの異物が飛び出して人に当たるとオペレータや周囲の人間に多大の危険を及ぼし、最悪の場合には死亡事故となる。

集草バッグは頻繁に点検すること。破損したバッグは新しい純正バッグに交換すること。

集草する場合、側方排出シュートが取り付けてある場合はこれを外してくださいリサイクリングについては 側方排出シュートを取り外す (ページ 11)を参照してください。

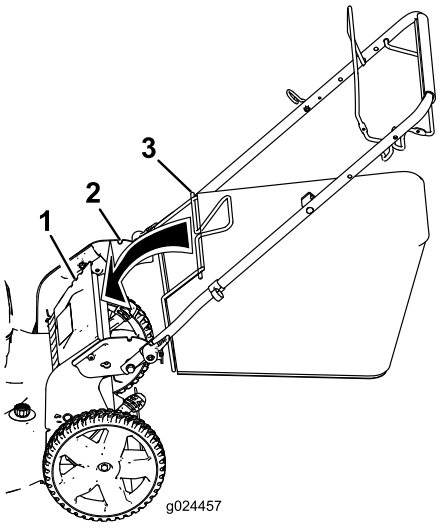
⚠ 警告

ブレードは非常に鋭利であり、触れると大けがをする危険がある。

エンジンを停止させたら、すべての部分が完全に停止するまで運転位置を離れないこと。

集草バッグを取り付ける

1. 後部デフレクタを上に開いてその位置に保持する図 15。



g024457

図 15

1. ノッチ
2. 後デフレクタ
3. 集草バッグのピン2本

2. 集草バッグを取り付けるウ。バッグについているピンがハンドルのノッチに掛かったことを確認する図 15。
3. 後デフレクタを降ろす。

集草バッグを取り外す

集草バッグの取り外しは、上記と逆の手順で行います。

側方排出での刈り込み

非常に背の高い草を刈る時には側方排出にしてください。

集草バッグは外してください 集草バッグを取り外す (ページ 11)を参照してください。

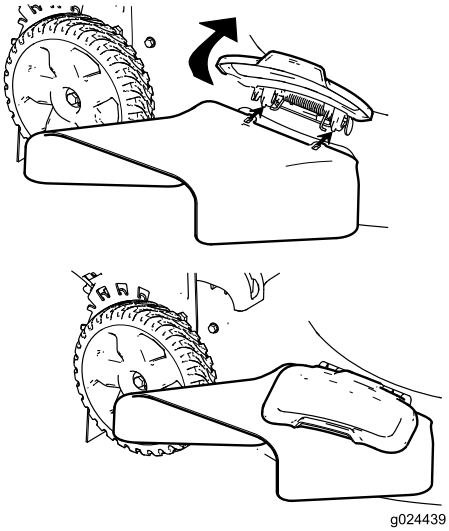
⚠ 警告

ブレードは非常に鋭利であり、触れると大けがをする危険がある。

エンジンを停止させたら、すべての部分が完全に停止するまで運転位置を離れないこと。

サイドディスチャージ側方排出シュートを取り付ける

側面にあるデフレクタを持ち上げて、側方排出シュートを取り付ける図 16。



g024439

図 16

側方排出シュートを取り外す

側面にあるデフレクタを持ち上げ、側方排出シュートを取り外し、側面デフレクタをもとに戻す。

機体を立てて格納するには

シーズン中はシーズン後に機械を格納保存する際に、立てて格納するとスペースを節約することができます。

⚠ 危険

ガソリンは極めて引火・爆発しやすい物質である。引火したり爆発したりするとやけどや火災などを引き起こすおそれがある。

- **燃料タンクに大量のガソリンが入ったままで機体を立てて格納すると、タンクから燃料が漏れ出す危険がある。ガソリンは極めて引火・爆発しやすい物質である。引火したり爆発したりするとやけどや火災などを引き起こすおそれがある。**
- **機体を立てて格納する時には、タンク内のガソリンの量が、この*オペレーターズマニュアル*に記載されている高さ未満とすること。**
- **立てかける際に、その角度が垂直90°以上にならないようにすること。垂直以上に傾けるとガソリンが漏れだす恐れがある。**
- **立てた状態で機械を移動させないこと。**
- **立てた状態でエンジンを始動しないこと。**
- **他の機械を立てて保管しないこと。ただしそのように設計製造されている製品であればこの限りでない。**

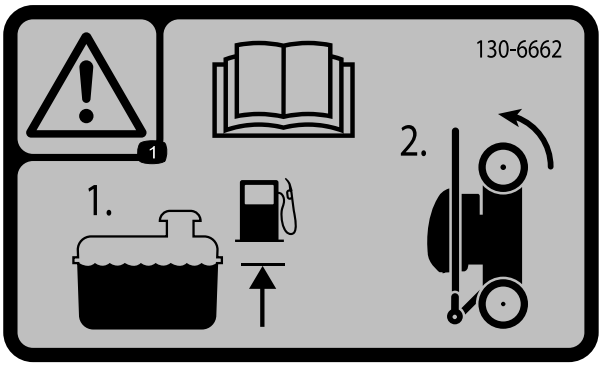
⚠ 警告

不用意にハンドルを開閉するとケーブルが破損して危険である。

- **ハンドルの開閉操作は、ケーブルを傷つけないように注意して行うこと。**
- **ケーブルの破損を発見したら、弊社の正規代理店に連絡する。**

1. 機体を立てて格納する時には、タンク内のガソリンの量が、このオペレーターズマニュアルに記載されている高さ未満とすることエンジンに貼り付けてあるエンジンメーカーのステッカーを参照図 17。

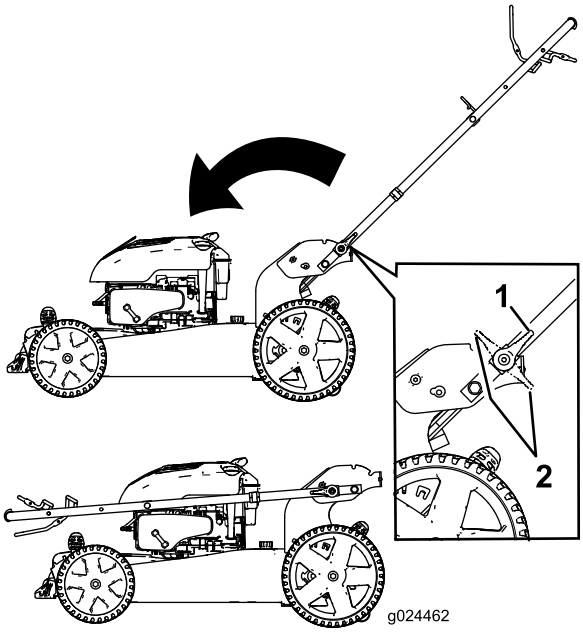
   注 タンク内のガソリンの量が、多すぎる場合には、余分のガソリンを他の安全な容器に移し替えて、タンク内のガソリンの量をエンジンメーカーが指示する量以下に減らすこと。



decal130-6662

図 17

2. この機械の刈高設定は92mm以下である。刈高がこれより高くなっている場合には適正範囲に下げること 刈高を調整する (ページ 9)を参照。
3. ハンドルロックを解除する図 18。



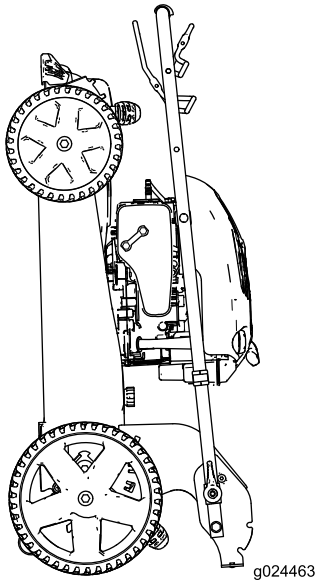
g024462

図 18

1. ハンドルロック位置　　2. ハンドルロック解除位置

4. ハンドルを前方に一杯に折りたたむ図 18。

   重要 ハンドルを折りたたむ時に、ケーブルがをハンドルの外側になるようにしてください。
5. ハンドルロックを掛ける。
6. ハンドルで機体の前部を持ち上げて格納場所へ運ぶ図 19。



g024463

図 19

ヒント

刈り込みについての一般的なヒント

- 作業場所をよく確認し、木の枝、石、針金など、ブレードにはね飛ばされると危険なものはすべて取り除いてください。
- 刈り込み中にブレードを硬いものに当てないように注意してください。障害物があるとわかっている場所は絶対に刈り込まないでください。
- 機械が何かにぶつかったり、異常な振動を始めたら直ちにエンジンを停止させ、点火プラグワイヤをはずし、機械が破損していないか点検してください。
- シーズンの始めにブレードを新しいものに交換することをお奨めします。
- また、ブレードは必要に応じて交換し、その際はToroの純正部品をご使用ください。

芝草の刈り込み

- 一度に刈り込む量は草丈のおよそ 1/3 程度までとしましょう。芝草がまばらにしか生えていない時や、成長が遅い時期晩秋以外は、刈高を 54mm 以下にしないようにするのが良いでしょう。刈高を調整する (ページ 9)を参照。
- 草丈が15cmを超えるような場所を刈り込む時には、最初に一番高い刈高でゆっくりと刈り込み、次に刈高を下げて刈るときれいにできます。草丈が高すぎるとブレードに絡みついてエンジンが停止する場合があります。
- 芝生が乾いている時に刈りましょう。ぬれた芝草やぬれた落ち葉は、あちらこちらにへばりつきやすく、刈り込みユニットに詰まってエンジンを停止させがちです。

⚠ 警告

また、ぬれた芝生や落ち葉の上はスリップしやすく、運転中に転んでブレードに触れると大けがをする危険もあります。芝生が乾いているとき以外は刈り込みを控えましょう。

- 非常に乾燥した日には火災が起きやすくなります。気象警報などに注意し、機械の周囲に乾いた草や葉を放置しないように注意してください。
- 刈り込みの方向を毎回変えましょう。刈りかすが満遍なく分散し、自然に分解されて肥料となる点でもメリットがあります。
- 刈り上がりに満足できない場合には、以下のつまたはそれ以上をお試しください
  - ブレードを交換するかブレードの研磨を行う。
  - 刈り込み時の歩く速度を遅くする。
  - 刈り込みデッキの刈高設定を高くする。
  - 刈り込み頻度を増やす。
  - 刈り幅をすこしダブらせるようにしながら刈り込む。
  - 前輪の高さを後輪よりも ノッチだけ低くセットする。例前輪を 54mm、後輪を 64mm にセットする。

落ち葉の刈り込み

- 一度刈り込みをした後、芝生の半分程度が落ち葉の上から透けて見える程度になっていることを確認してください。落ち葉の場合には、一回では完全に刈り込めない場合があります。
- 落ち葉が 13cm 以上の深さに積もっている場合には、前輪の高さを、後輪よりも1~2ノッチ高くセットしてください。
- 落ち葉を十分に細かく切断できない場合には、歩く速度を落としてください。

保守

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

推奨される定期整備作業

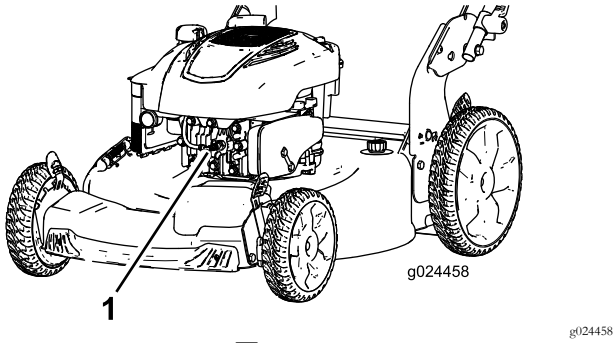
整備間隔	整備手順
使用開始後最初の 5 時間	· エンジンオイルを交換する。
使用するごとまたは毎日	· エンジンオイルの量を点検する。 · ブレードコントロールバーから手を離すと 3 秒以内にエンジンが停止することを確認してください。 · 機体の下部についている刈かすやよごれを除去する。
長期保管前	· 修理や保管の前には、本書の説明に従って燃料タンクを空にする。
1年ごと	· エンジンオイルを交換する。 · ブレードは、交換するか研磨するかする（刃先が丸くなるのが早い場合には回数を増やす）。 · 空冷部を清掃する；ほこりの多い環境で使用しているときには清掃間隔を短くする。エンジンマニュアルを参照のこと。 · エンジンの整備に関しての詳細は、付属のエンジンマニュアルを参照してください。

重要 エンジンの整備に関しての詳細は、付属のエンジンマニュアルを参照のこと。

注 交換部品は、弊社正規サービスディーラからお買い求めいただけますお近くのお店を探すには www.toro.com が便利です。 www.shoptoro.com もご利用いただけます。

整備作業にかかる前に

1. エンジンを止め、各部が停止するのを待つ。
2. 整備などの前には、必ず点火プラグコードを外す図 20。



g024458

図 20

3. 整備作業が終了したら、点火プラグコードを元通りに取り付ける。

重要 オイル交換やブレードの交換のために機体を倒す必要があるときは、まず、通常の運転によって燃料タンクを空にしてください。通常運転で燃料を使いきれない場合には、ポンプなどでタンクから燃料を吸いだしてください。機体を傾けるときには、必ずディップスティックが下になるように横に傾けてください。

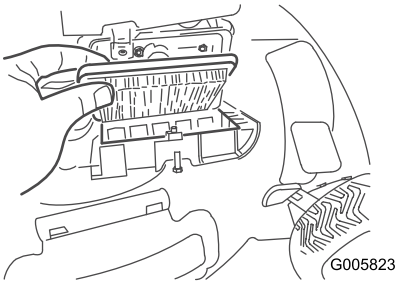
⚠ 警告

機体を傾けると燃料が漏れ出す可能性がある。ガソリンは非常に引火爆発しやすく、人身事故の原因となりうる。

燃料タンクが空になるまで運転するか、ポンプを使ってタンクからガソリンを抜くサイホンでくみ出さないこと。

エアフィルタの交換

1. エアフィルタのカバーを開けるときはねじ回しを使用する図 21。



g005823

図 21

2. エアフィルタの交換
3. エアフィルタのカバーを取り付ける。

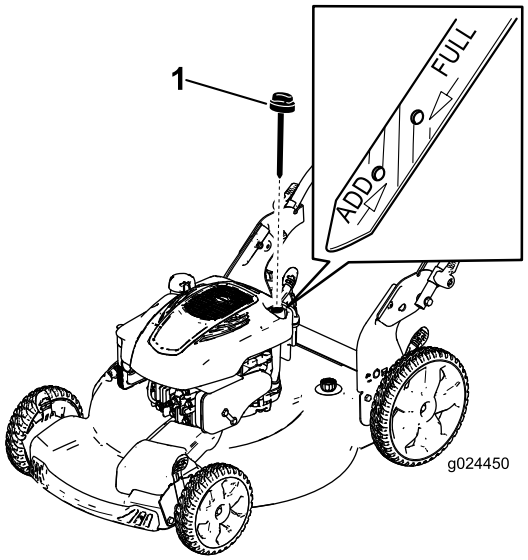
エンジンオイルの交換

整備間隔: 使用開始後最初の 5 時間

1年ごと

エンジンを始動し、数分間回転させて内部のオイルを温める。オイルを温めると汚れがよく落る。

1. 平らな場所に駐車する。
2. 整備作業にかかる前に (ページ 14)を参照。
3. ディップスティックを外す図 22。

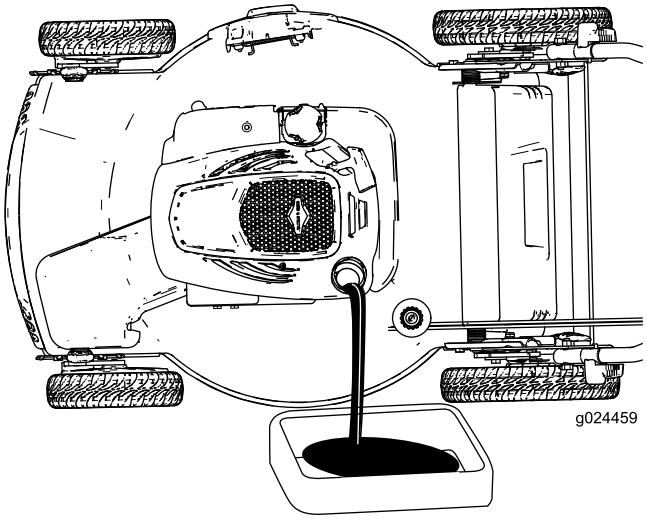


g024450

図 22

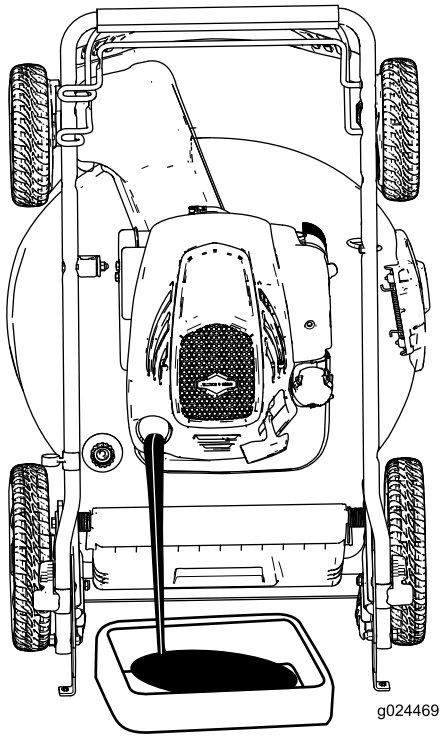
1. ディップスティック

4. ディップスティックが下になるように機体を横倒しにするか図 23、立てて収納する姿勢にする図 24エンジンオイルを抜く方法は 機体を立てて格納するには (ページ 12)を参照。



g024459

図 23



g024469

図 24

5. オイルが抜けたら機体を元通りに立てる。
6. オイル容量の約 3/4 をまずエンジンに入れる。

   注 エンジンオイルの最大量 0.59 リットルタイプSAE 30 洗浄性オイル全米石油製品規格API規格SF, SG, SH, SJ, SL またはそれ以上。
7. オイルがクランクケースに落ち着くまで 3 分間ほど待つ。
8. きれいなウェスでディップスティックをぬぐう。
9. 補給口にディップスティックを差し込んでねじ部を最後まで締め、もう一度抜き取る。
10. ディップスティックの目印で油量を点検する図 22。
    - 油量がディップスティックの ADD マークより足りなければ、補給管から少量を補給する。 FULL マークになるまでステップ8~10を繰り返す。
    - 油量がディップスティックの FULL マークより上にある場合は、余分のオイルを抜いて FULL マークまで戻す。

    重要 オイル量が少なすぎても多すぎても、そのままでエンジンを運転するとエンジンを破損させる恐れがあります。
11. ディップスティックをしっかり取り付ける。
12. 使用済みのオイルは適切に処分してください。

ブレードの交換

整備間隔: 1年ごと

重要 ***ブレードを適切に取り付けるにはトルクレンチが必要です。*** **トルクレンチをお持ちでない場合や、この整備に不安がある場合には、弊社の正規サービスディーラにご相談ください。**

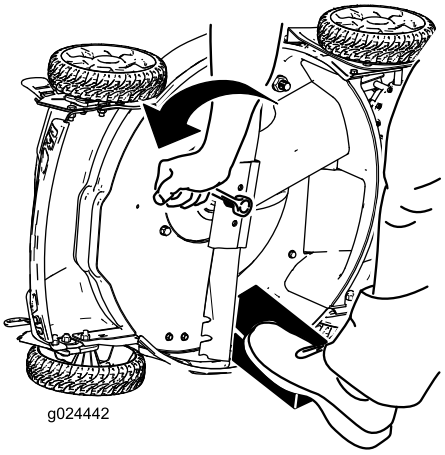
ガソリンが無くなったら、そのたびにブレードを点検してください。ブレードに破損や割れを発見した場合には直ちに交換してください。刃先が鈍くなっていたり、曲がったりしている場合には、研磨または交換してください。

⚠ 警告

ブレードは大変鋭利であるブレードに触れると大けがをする危険がある。

ブレードの整備を行う場合には手袋をはめる。

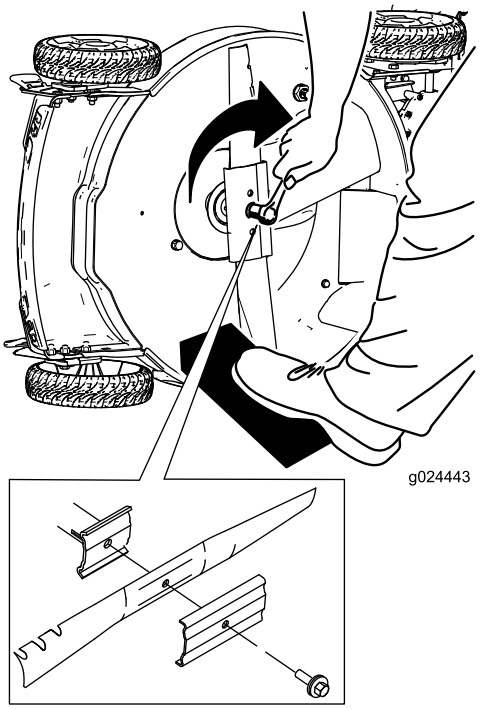
1. 整備作業にかかる前に (ページ 14)を参照。
2. 機体を傾けるときには、ディップスティックが下になるように傾ける。
3. 角材などを使ってブレードをしっかり保持する図 25。



g024442

図 25

4. ブレードボルトを左に回してブレードを取り外す。外したボルト類は新しいブレードの取り付けに使用する図 25。
5. 新しいブレードを取りつけるブレードボルトを右に締め付ける図 26。



g024443

図 26

重要 **ブレードの立っている側セール部がハウジングを向くのが正しい取り付け方です。**

6. **トルクレンチを使って、ブレードを82 N m2.5 kg.m = 60 ft-lbに締め付ける。**

重要 **82 N m2.5 kg.mまでのトルク締めは非常に強い力を必要とします。ブレードを角材などでしっかり保持し、トルクレンチに自分の体重をしっかり掛けてボルトを確実に締め付けてください。このボルトは相当に強く締め付けても、締め付けすぎになることはまずありません。**

自走運転の調整

自走運転ケーブルを取り換えた場合など調整が必要な時には、以下の方法で行います。

1. 調整ねじを左に回してケーブルの調整をゆるめる図 27。

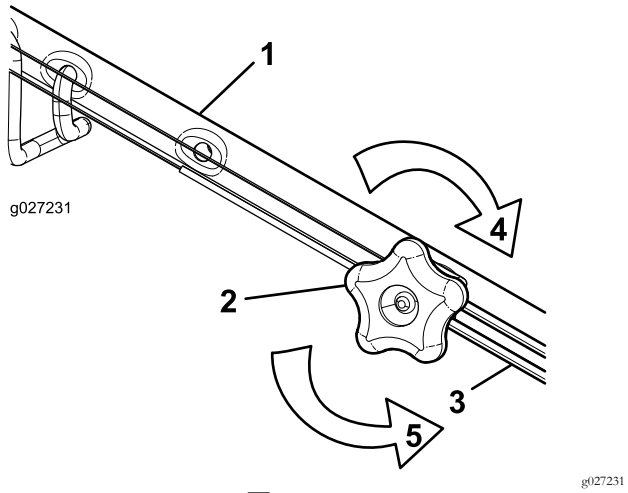


図 27

1. ハンドル左側
2. 調整ノブ
3. 自走ケーブル
4. ノブを右に回すと調整がきつくなる
5. ノブを左に回すと調整がゆるくなる

2. ケーブル図 27を押し引きして適当な位置に調整できたら、その位置に保持する。

   注 ケーブルはエンジン側に押すと走行速度が速くなり、引くと遅くなります。

3. ノブを右に回すとケーブル調整が固定される。

   注 調整できたらノブをしっかり締め付けてケーブルを固定する。

機体下の清掃

整備間隔: 使用するごとまたは毎日

⚠ 警告

機体のハウジングの下側から刈かすなどが飛び出すことがある。

- **保護メガネ等着用のこと。**
- **エンジン作動中は、運転位置ハンドルの後ろから離れない。**
- **近くに人を寄せないこと。**

洗浄ポートを使用しての洗浄作業

刈り込み作業が終わったらすぐに機械を洗浄するのがベストです。

1. 刈り込みデッキを一番低い刈高に降下させる。刈高を調整する (ページ 9)を参照。
2. 舗装された平らな場所に駐車する。
3. 後部デフレクタの裏側刈りかすがデッキから出て集草バッグに入る部分を洗浄する。
4. 洗浄ポートにホースを接続し、ホースを水道栓につなぐ図 28。

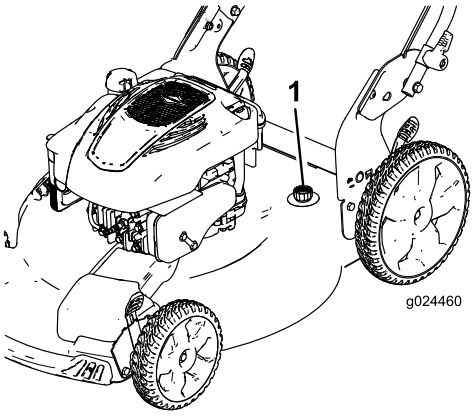


図 28

1. 洗浄ポート

5. 水道栓を開く。
6. エンジンを始動してブレードを回転させ、デッキ下から刈りかすが排出されなくなるまで待つ。
7. エンジンを止める。
8. 水道を止め、ホースを外す。
9. エンジンを数分間運転してデッキの裏側から水分を完全に飛ばす。
10. 閉めきった場所に本機を保管する場合は、エンジンが十分冷えていることを確認してください。

機体を立てて洗浄するには

1. 機体を立てる 機体を立てて格納するには (ページ 12)を参照。
2. 車体下側から刈りかすなどを除去する。

保管

保管は、汚れていない乾燥した場所で行う。

格納保管の準備

⚠ 警告

気化したガソリンは爆発しやすい。

- **ガソリンは30日間以上保存しない。**
- **裸火の近くで機械を保管しない。**
- **保管前にエンジンが十分に冷えていることを確認する。**

1. シーズン最後の燃料補給の時に、燃料スタビライザ品質保持剤エンジンメーカーが推奨するものを添加しておく。
2. 抜き取った燃料は適切に処分する。それぞれの地域の法律などに従って処分すること。

   注 エンジンの掛かりが悪い一番の原因は燃料タンク内部で燃料が劣化することです。燃料安定剤を入れない場合は30日以上の燃料保管をしないでください。安定剤を入れた場合でも90日以上の保管はしないでください。
3. エンジンを始動し、燃料切れで自然に停止するまで放置する。
4. もう一度エンジンを掛ける。
5. エンジンが再度始動したら自然停止まで運転する。プライミングしてもエンジンを始動できなくなれば内部のガソリンが完全になくなったとみなしてよい。
6. 点火コードを取り外す。
7. 点火プラグを外し、30cc のエンジンオイルを、プラグの取り付け穴から流し込み、スタータロープを ゆっくりと 数回引いて、エンジンオイルをシリンダ内部全体にゆきわたらせ、保管期間中の防錆とする。
8. 点火プラグをゆるく取り付ける。
9. 機体各部のゆるみを点検し、必要な締め付けや交換、修理を行う。

ハンドルを折りたたむ

⚠ 警告

不用意にハンドルを開閉するとケーブルが破損して危険である。

- **ハンドルの開閉操作は、ケーブルを傷つけないように注意して行うこと。**
- **ケーブルの破損を発見したら、弊社の正規代理店に連絡する。**

1. ハンドルロックを解除して上部ハンドルを自由に動かすことができるようにする。
2. 図 29に示すように、ハンドルを前方に折りたたんで縦位置または完全に前に倒した状態にする。

   重要 ハンドルを折りたたむ時に、ケーブルがをハンドルの外側になるようにしてください。

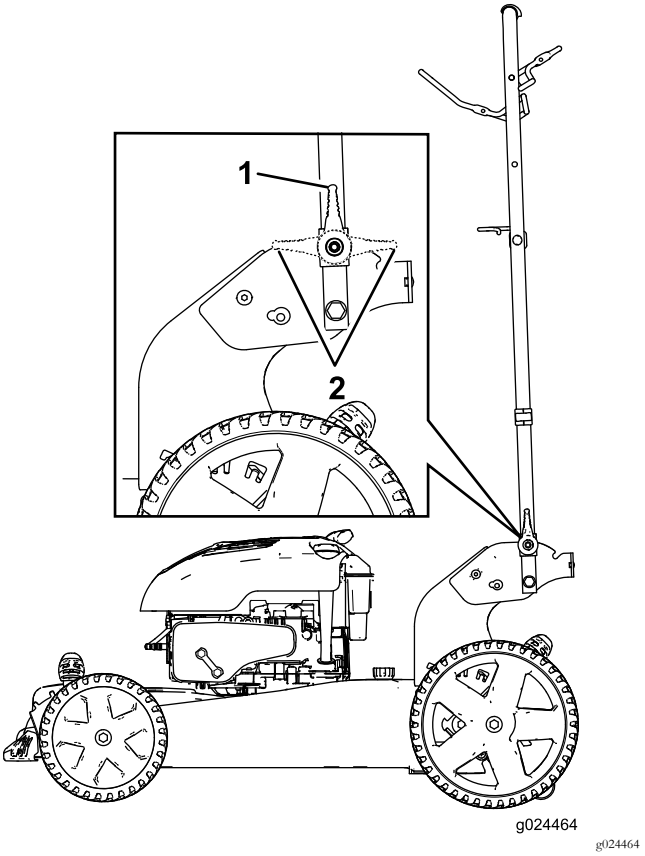


図 29

1. ハンドルロック位置　　2. ハンドルロック解除位置

3. ハンドルを開くには1 ハンドルを開く (ページ 5)を参照。

保管状態から通常使用状態への復帰

1. 各ボルト類の締め付けを確認する。
2. 点火プラグを外し、スタータ・ロープを使ってエンジンを勢い良く回転させて内部のオイルを飛ばす。
3. 点火プラグを取り付け、トルクレンチで 20 N·m2 kg.mにトルク締めする。
4. 必要な整備をすべて行う 整備作業にかかる前に (ページ 14)を参照。
5. エンジンオイルの量を点検する エンジンオイルの量を点検する (ページ 9)を参照。

6. 燃料タンクに新しいガソリンを入れる 燃料を補給する (ページ 8)を参照。
7. 点火コードを接続する。

メモ

メモ

メモ

米国外のディストリビューター一覧表

ディストリビュータ輸入販売代理店	国名	電話番号	ディストリビュータ輸入販売代理店	国名	電話番号
Agrolanc Kft	ハンガリー	36 27 539 640	Maquiver S.A.	コロンビア	57 1 236 4079
Balama Prima Engineering Equip.	香港	852 2155 2163	丸山製作所	日本	81 3 3252 2285
B-Ray Corporation	韓国	82 32 551 2076	Mountfield a.s.	チェコ共和国	420 255 704 220
Casco Sales Company	プエルトリコ	787 788 8383	Mountfield a.s.	スロバキア	420 255 704 220
Ceres S.A.	コスタリカ	506 239 1138	Munditol S.A.	アルゼンチン	54 11 4 821 9999
CSSC Turf Equipment (pvt) Ltd.	スリランカ	94 11 2746100	Norma Garden	ロシア	7 495 411 61 20
Cyril Johnston & Co.	北アイルランド	44 2890 813 121	Oslinger Turf Equipment SA	エクアドル	593 4 239 6970
Cyril Johnston & Co.	アイルランド共和国	44 2890 813 121	Oy Hako Ground and Garden Ab	フィンランド	358 987 00733
Equiver	メキシコ	52 55 539 95444	Parkland Products Ltd.	ニュージーランド	64 3 34 93760
Femco S.A.	グアテマラ	502 442 3277	Perfetto	ポーランド	48 61 8 208 416
ForGarder OU	エストニア	372 384 6060	Pratoverde SRL.	イタリア	39 049 9128 128
ゴルフ場用品株式会社	日本	81 726 325 861	Prochaska & Cie	オーストリア	43 1 278 5100
Geomechaniki of Athens	ギリシャ	30 10 935 0054	RT Cohen 2004 Ltd.	イスラエル	972 986 17979
Golf international Turizm	トルコ	90 216 336 5993	Riversa	スペイン	34 9 52 83 7500
Guandong Golden Star	中国	86 20 876 51338	Lely Turfcare	デンマーク	45 66 109 200
Hako Ground and Garden	スウェーデン	46 35 10 0000	Solvert S.A.S.	フランス	33 1 30 81 77 00
Hako Ground and Garden	ノルウェイ	47 22 90 7760	Spypros Stavrinides Limited	キプロス	357 22 434131
Hayter Limited (U.K.)	英国	44 1279 723 444	Surge Systems India Limited	インド	91 1 292299901
Hydroturf Int. Co Dubai	アラブ首長国連邦	97 14 347 9479	T-Markt Logistics Ltd.	ハンガリー	36 26 525 500
Hydroturf Egypt LLC	エジプト	202 519 4308	Toro Australia	オーストラリア	61 3 9580 7355
Irrimac	ポルトガル	351 21 238 8260	Toro Europe NV	ベルギー	32 14 562 960
Irrigation Products Int'l Pvt Ltd.	インド	0091 44 2449 4387	Valtech	モロッコ	212 5 3766 3636
Jean Heybroek b.v.	オランダ	31 30 639 4611	Victus Emak	ポーランド	48 61 823 8369

欧州におけるプライバシー保護に関するお知らせ

トロが収集する情報について
トロ・ワランティー・カンパニートロは、あなたのプライバシーを尊重します。この製品について保証要求が出された場合や、製品のリコールが行われた場合にあなたに連絡することができるように、トロと直接、またはトロの代理店を通じて、あなたの個人情報の一部をトロに提供していただくようお願いいたします。

トロの製品保証システムは、米国内に設置されたサーバーに情報を保存するため、個人情報の保護についてあなたの国とまったく同じ内容の法律が適用されるとは限りません。

あなたがご自分の個人情報を提供なさることにより、あなたは、その情報がこの「お知らせ」に記載された内容に従って処理されることに同意したことになります。

トロによる情報の利用
トロでは、製品保証のための処理ならびに製品にリコールが発生した場合など、あなたに連絡をすることが必要になった場合のために、あなたの個人情報を利用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の提携会社、代理店などのビジネス・パートナーに情報を開示する場合があります。弊社があなたの個人情報を他社に販売することはありません。ただし、法の定めによって政府や規制当局からこれらの情報の開示を求められた場合には、かかる法規制に従い、また弊社ならびに他のユーザー様を保護する目的のために情報開示を行う権利を留保します。

あなたの個人情報の保管について
トロでは、情報収集の当初の目的を遂行するのに必要な期間にわたって、また法に照らして必要な期間法律によって保存期間が決められている場合などにわたって情報の保管を行います。

弊社はあなたの個人情報の流出を防ぎます
トロは、あなたの個人情報の保護のために妥当な措置を講ずることをお約束します。また、情報が常に最新の状態に維持されるよう必要な手段を講じます。

あなたの個人情報やその訂正のためのアクセス
登録されているご自分の情報をご覧になりたい場合には、以下にご連絡ください legal@toro.com.

オーストラリアにおける消費者保護法について

オーストラリアのお客様には、梱包内部に資料を同梱しているほか、弊社代理店にても法律に関する資料をご用意しております。

Toro 製品保証
および
トロ GTS エンジン始動保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社である Toro ワランティー社は、両社の合意に基づき、当初にお買い上げのお客様[1]に対し、以下に挙げる Toro 社製品に材質上または製造上の欠陥が発見された場合、または、当該製品に使用されているトロGTS始動保証付きエンジンが回または2回の始動動作で始動できなかった場合には、無償修理を行うことをお約束します。ただし、本保証は、当該機械が、*オペレーターズマニュアル*に基づいて適切に保守整備されていること条件とします。

保証期間は、購入日から起算して以下の通りとします

製品	保証期間
歩行型動力式芝刈機	
・キャストデッキ	5 年間住宅用利用の場合[2] 90日間業務用の利用の場合
・エンジン	5 年間の GTS 保証 住宅用利用の場合[3]
・バッテリー	2 年間
・スチールデッキ	2 年間住宅用利用の場合[2] 30日間業務用の利用の場合
・エンジン	2 年間の GTS 保証 住宅用利用の場合[3]
タイムマスター芝刈り機	3 年間住宅用利用の場合[2] 90日間業務用の利用の場合
・エンジン	3 年間の GTS 保証 住宅用利用の場合[3]
・バッテリー	2 年間
手持ち型電動製品 および歩行型動力式芝刈機	2 年間住宅用利用の場合[2] 業務用利用には保証なし
除雪機	
・シングルステージ	2 年間住宅用利用の場合[2] 45日間業務用の利用の場合
・エンジン	2 年間の GTS 保証 住宅用利用の場合[3]
・ツーステージ	3 年間住宅用利用の場合[2] 45日間業務用の利用の場合
・シュート、シュートデフレクタ、およびインペラハウジングのカバー	製品寿命までただし最初のオーナーに対してのみ[5]
電動除雪機	2 年間住宅用利用の場合[2] 業務用の利用に対しては保証なし
以下に挙げる乗用マシン	
・エンジン	エンジンメーカーの保証[4]
・バッテリー	2 年間住宅用利用の場合[2]
・アタッチメント	2 年間住宅用利用の場合[2]
DHローンガーデントラクタ	2 年間住宅用利用の場合[2] 30日間業務用の利用の場合
XLSローンガーデントラクタ	3 年間住宅用利用の場合[2] 30日間業務用の利用の場合
タイムカッター	3 年間住宅用利用の場合[2] 30日間業務用の利用の場合
タイタン芝刈り機	3 年間または 240 運転時間[5]
・フレーム	製品寿命までただし最初のオーナーに対してのみ[6]

[1]「当初にお買い上げのお客様」とは当該 Toro 製品を購入された当初のお客様を意味します。

[2]通常の住宅環境とは、自宅敷地内にて使用することを言います。1箇所より多い現場での使用は業務用使用となり、業務用製品の保証が適用されます。

[3]上記製品が業務用に使用されている場合、トロGTS保証は適用されません。

[4]トロの 製品では、エンジンの保証をエンジンメーカーが行っているものがあります。

[5]いずれか早く到達した時期まで。

[6]製品寿命時期までのフレーム保証メインフレーム溶接によって構成した、トラクタのフレーム構成部であって、エンジンなどの構成品を搭載するための構造物が、通常の使用中に割れや破損を生じた場合、部品代や工賃の負担なく、修理または交換を、Toro 社が選択して、行います。不適切な使用、無理な使用によるフレームの破損や使用間違いまたは錆や腐食の発生によって必要になった修理には本保証は適用されません。

アワーメータの接続が外されている場合、アワーメータが改造されている場合、アワーメータに改ざんの形跡が見られる場合は、保証が拒否されることがあります。

オーナーの責任

製品の持ち主は、その製品の*オペレーターズマニュアル*に従って製品の整備を行う責任があります。 これらの保守作業は代理店またはご本人が行うことができますが、費用はお客様のご負担となります。

保証請求の手続き

お客様が所有する製品に材質上または製造上の欠陥が存在すると思われた場合には、以下の手続きを行ってください

1. 販売店に対して保証修理を依頼してください。販売店に連絡できない場合には、弊社正規代理店へご連絡ください。代理店一覧表をご覧ください.
2. 所定の修理工場へ、機械を持ち込んでください。その際、お買い上げの証明となるものレシートなどをご提示ください。修理工場の診断や修理作業にご満足できない場合には、以下にご連絡ください

   Toro Customer Care Department, RLC Division
   Toro Warranty Company
   8111 Lyndale Avenue South
   Bloomington, MN 55420-1196
   001–952–948–4707

保証の対象とならない場合

排ガス保証やエンジン保証付きの製品以外は、上記に挙げた保証が製品保証のすべてとなります。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません。

- 通常の保守整備にかかる費用や部品の代金たとえば、フィルタ、燃料、潤滑剤、オイル交換費用、点火プラグ、エアフィルタ、ブレードの研磨費用や交換費用、ケーブルやリンクの調整費用、ブレーキやクラッチの調整費用などがこれにあたります。
- 通常の使用によって磨耗して寿命がくる部品等
- 改造、誤使用、整備不良、過失などが原因で修理や交換が必要になった製品や部品
- 製品の引き取りや配達に伴う費用。
- 弊社正規代理店以外の業者による修理や分解操作など
- 弊社が推奨する適正燃料を使用しなかったことが原因で起こった不具合の修理詳細については*オペレーターズマニュアル*をご参照ください
  - 燃料系統が汚染された場合の汚染除去は本保証には含まれません
  - 古くなった燃料購入後一ヶ月以上を経過しているものや、エタノールを10%以上またはMTBEを15%以上含有する燃料の使用
  - 不使用期間が一ヶ月を超える場合に燃料タンクから燃料を抜き取らなかったことを原因とする不具合
- 以下のことが原因で発生した始動時トラブルを修正するための調整費用
  - 推奨されている整備や燃料についての注意事項を守らなかった
  - 刈り込み刃が異物に当たった
- エンジンを始動させるために、通常は2回以上の始動動作が必要とされるような特殊な使用条件の場合
  - 長期間3ヶ月以上、冬期格納などの後で初めてエンジンを始動させる場合
  - 早春や晩秋などの早朝で特に気温が低くてエンジンが掛かりにくい場合
  - 正しい始動手順を守っていないためのトラブルエンジンが掛かりにくい場合には、*オペレーターズマニュアル*に記載されている説明を確認してください。マニュアルに従って正しく操作していただくことにより、本当のトラブルとそうでないものを区別することができ、時間や出張費用の無駄を省くことができます。

その他

ご購入者様は、居住国の法律により保護されています。本保証は、これらの法律によって保護されるご購入者の権利を制限するものではありません。